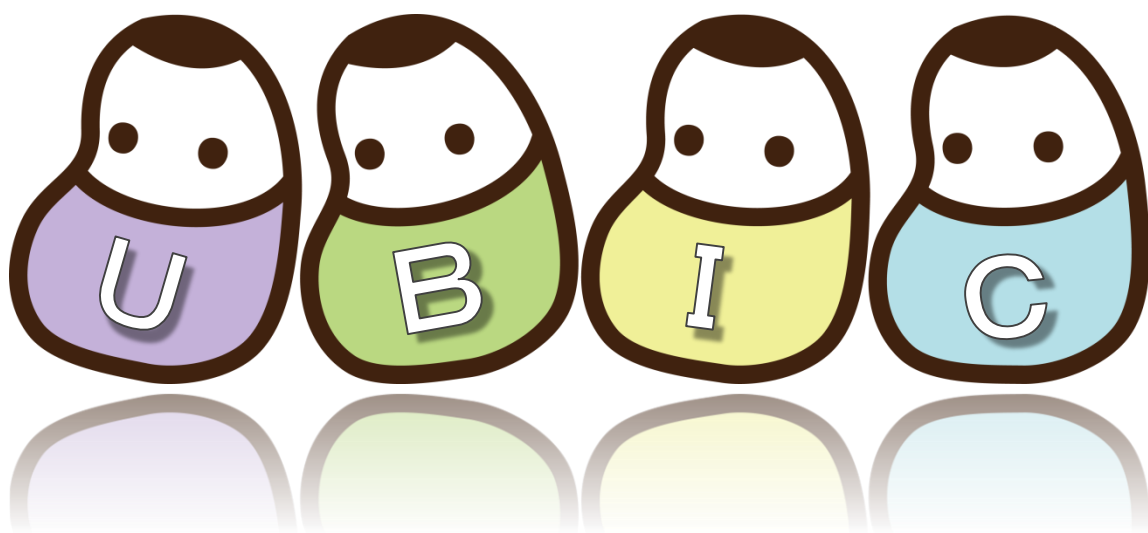


UBIC

University-Business Innovation Center



会津大学 産学イノベーションセンター



■ 産学イノベーションセンター(UBIC)の概要	… P 1
■ 産学官連携の体制	… P 2
■ 地域・産業界との連携	… P 3
■ 会津IT秋フォーラム	… P 5
■ 産学官連携フォーラム	… P 6
■ 企業等との協業による教育活動	… P 7
■ 研究技術説明会	… P 9
■ 各種講習会	… P 10
■ 共同研究等の制度	… P 11
■ 研究開発室	… P 12
■ 共同研究・知的財産等の実績	… P 13
■ UBIC利用案内	… P 14

2014年3月発行
UBICニュース

第12号

イノベーションの創出、 産業の振興・発展を目指して

会津大学産学イノベーションセンター(略称:UBIC)は、会津大学と企業や地域が連携して研究を進めていくための産学官連携の拠点施設です。

地域や企業に開かれた総合窓口として、
企業等との共同研究をはじめ、
大学の研究や特許の紹介、
大学発ベンチャーや起業家の育成、
各種セミナー等を開催することにより、
産学連携を推進しています。



また、企業等の技術相談や
経営相談等に応じるとともに、
企業と大学研究者とのコーディネート活動を行い、
産業創出・地域活性化のために活動を進めています。



UBICセンター長あいさつ

会津大学は、最先端のコンピュータ理工学の研究・教育に特化した大学です。
この特徴を活かし、福島県内外のIT関連企業の皆様や、福島・会津地域の方々との産学官連携を強力に進めることで、産業の活性化、IT人材育成、雇用拡大を目指していきたいと考えています。

今後とも、本学のIT研究・教育の成果と国際ネットワークを活用しながら、震災復興を支援し、豊かで美しい福島県を再生していくため努力して参ります。

いわせ じろう

岩瀬 次郎 (会津大学理事 兼 産学イノベーションセンター長)

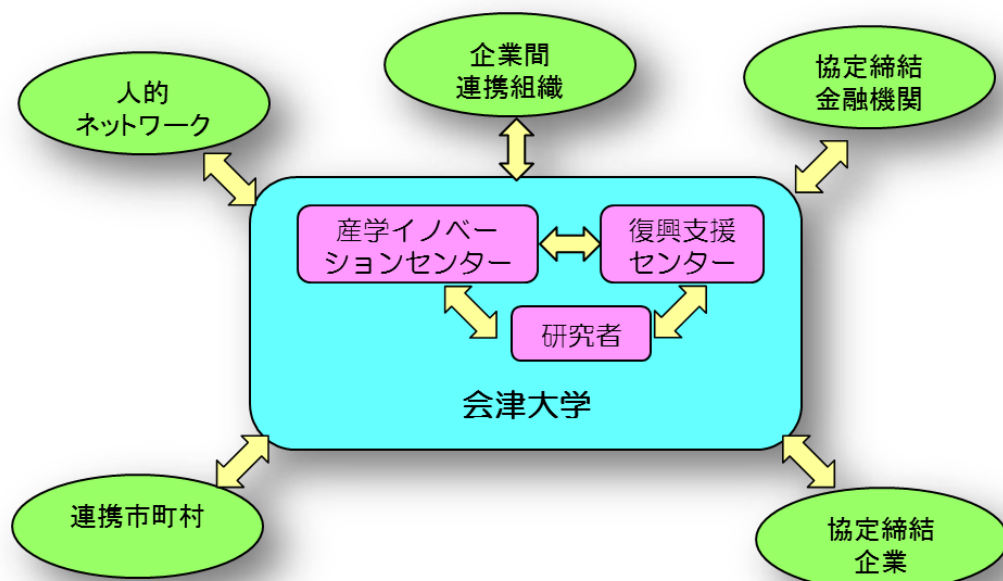
札幌生まれの京都市育ち。京都大学工学部大学院卒
日本IBM入社後、米国エール大学大学院へ留学、Applied Science & School Management 修了修士
日本IBMにおいて、コンピテンシーマネジメント企画管理マネージャやソフトウェアエンジニアリングマネージャ、
コンピテンシー&スキル開発マネージャを歴任
平成19年4月より会津大学理事
平成22年4月、産学イノベーションセンター長に就任
平成25年3月、復興支援センター長に就任

産学官連携の体制

従来の産学イノベーションセンター(UBIC)を核とした産学官連携の枠組みに加え、東日本大震災からの復興を目的とした会津大学復興支援センター(ARC)を平成25年3月に設立しました。

復興支援センターでは、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、福島県の復興に貢献するとともに、先進的なICT研究を行い、新たなICT産業と雇用の創出を目指しています。

また、その拠点施設として会津大学先端ICTラボ(LICTiA)を平成26年度に着工いたします。



産学イノベーションセンター
UBIC (University-Business Innovation Center)

既存



復興支援センター
ARC (The University of Aizu Revitalization Center)

震災後

UBICの活動

- 産学官連携の推進
- 共同研究・受託研究等の推進、外部資金の導入
- 企業等からの技術相談や経営相談
- 人材育成、大学発ベンチャーや起業家精神の育成
- 知的財産の管理・活用
- 研究成果の紹介、研究者の技術シーズの情報提供
- 最先端IT情報を発信する産学連携フォーラムの開催
- IT関連の各種講習会の開催
- 施設の提供
- 一般の見学の受け入れ

ARCの活動

- 先端ICT研究の実行
- 革新を生み出す場の提供
- ICT人材の創出
- 会津大学先端ICTラボの運営
- 会津産学官連携クラウドの運営
- 会津産学コンソーシアムによる意見交換
- ICTを活用した福島県復興への寄与
 - ・ 県民の安全・安心の向上
 - ・ 原発災害からの復興
 - ・ 風評被害の克服

産学懇話会との取組

会津産学懇話会は、平成5年4月の会津大学開学と相俟つように、平成5年12月に会津地区経営者協会有志により設立された大学支援団体です。毎月の定例会をはじめ会津大学と会津産学懇話会の産学交流会・先進地視察等により、産学連携と会津地域の産業振興のための事業を展開しています。

定例会

月に一度、朝食をとりながら意見交換会を開催しています。



サマーイブニングパーティ

毎年夏には、教員の家族と産学懇話会会員がパーティを通して交流を深めています。



先進地視察（ロシア）

会津大学教員の約40%が外国人教員です。そのコネクションを活かし、産業界の皆様方の国際化にもご協力しています。

平成25年度はサンクトペテルブルグ、モスクワの協定校訪問や、ロシアにおける日本企業のビジネスを視察しました。



会津産業ネットワークフォーラム(ANF)との取組

ANF モーニングサロン

ANFモーニングサロンは、会津大学と会津産業ネットワークフォーラム(ANF)との共同企画により、産学官連携の仕組みづくりと会津発ビジネス育成を目的として、平成22年度にスタートし、平成25年度まで合計17回開催しました。

この会合では、ANF会員企業の講演や、会津大学教員の研究成果等を紹介することで、互いの技術やニーズを知り理解を深め、これを契機とした産学連携プロジェクトも生まれています。

ANFについて

会津産業ネットワークフォーラム(ANF)は、会津地域の振興に企業の立場から取り組み、地域とともに成長、発展することを目指し、地域に根ざす製造業を核とした企業間の連携組織です。



会合は朝7:30~9:00に開催。
ワンコイン(500円)で朝食を楽しみながら、情報交換・意見交換を行いました。

平成25年12月からは、ANF会員企業の現場の方々の

意見交換の場である、【技術者の集い】へ移行しました。

ANF 技術者の集い

「ANFモーニングサロン」が当初の目的を果たしたことを受け、本形式は発展的に終了し、企業の技術者間の意見交換を行う場としての「技術者の集い」として開催することになりました。

この「技術者の集い」は会津大学復興支援センターのAOI会議(Aizu Open Innovation会議)の一つとして、地域の様々な業種、団体の皆様のニーズを抽出し、大学との連携のもと、課題解決や新産業創出の場につなげていくことを目的としています。



会 津 I T 秋 フォーラム

平成19年度より、会津地域をITの先進地とすることを目標に掲げ、「会津IT秋フォーラム」を開催しています（※平成21年度までは「会津ITサマーフォーラム」として開催）。ITに関わる企業人、研究者、学生が一同に集い、会津から全国へ向けて最先端のIT情報を発信しています。

会津IT秋フォーラム2013



～これからの20年、ITで広がる無限の可能性～

【開催日：平成25年9月13日（金） 会場：会津大学】

開学20周年記念事業として開催した平成25年度のテーマは、「震災から復興」と「これからの20年」です。ITが新しい産業や雇用を生み出すという視点から、東日本大震災・原子力災害などからの復興を支援するとともに、「20年」をキーワードに、これからの20年の間に、ITがどのような形で進化し、我々の生活がどのように変わっていくのかといった視点で開催いたしました。



基調講演

「新しいITの潮流とこれからの20年」
日本オラクル㈱
取締役会長 遠藤 隆雄氏



特別講演

「産学連携への期待」
経済産業省産業技術環境局
大学連携推進課長 佐藤 文一氏



特別講演

「ソーシャルメディアと未来」
ジャーナリスト/メディア・アクティビスト
津田 大介氏



【特別講演】



【分科会】



【交流会】



【ベンチャー紹介ブース】

産学官連携フォーラム

産学官連携の推進事業として、企業経営の向上や地域経済の活性化を目的とした「産学官連携フォーラム」を開催しています。平成25年度は下記5回のフォーラムを開催しました。

【第1回】中国電力所有特許 無償利用提供のための説明会

- ◆開催日：平成25年6月3日（月）
- ◆共 催：東北活性化研究センター
- ◆講 師：中国電力(株)
・梶山 勝哉氏 ・江角 宣行氏
- ◆来場者：20名



【第2回】HTML5とAndroidの未来

- ◆開催日：平成25年7月6日（土）
- ◆共 催：日本Androidの会会津支部
- ◆協 賛：(株)GClue (株)デザニウム HTML5 Caravan
- ◆講 師：日本Androidの会 丸山 不二夫氏
HTML5 Caravan 山本 直也氏
- ◆来場者：30名

【第3回】大河ドラマ「八重の桜」 におけるVFX技術

- ◆開催日：平成25年8月21日（水）
- ◆講 師：日本放送協会
・加藤 拓氏 ・結城 崇史氏
N T Tラーニングシステムズ(株)
・進 威志氏 ・嶋原 和宏氏
- ◆来場者：140名



【第4回】会津産IT技術プレゼンテーション ・パネルディスカッション「情報技術のトレンド」

- ◆開催日：平成26年1月15日（水）
- ◆共 催：会津若松市
- ◆講 師：モデレータ：日本ユニシス(株) 保科 剛氏
パネリスト：(株)会津ラボ 久田 雅之氏
(株)Eyes, JAPAN 山寺 純氏
(株)デザニウム 前田 諭志氏
：会津大4年 讃岐 航
- ◆来場者：40名

【第5回】組み込み講演会

- ◆開催日：平成26年3月7日（金）
- ◆共 催：組み込み技術協会(JASA)東北支部
- ◆講 師：(株)GClue 佐々木 陽氏
アップウインドテクノロジー
・インコーポレイテッド 中村 憲一氏
- ◆来場者：50名



企業との協業による教育活動～1

会津大学では、会津藩校日新館(*)の精神を新しい時代に活かし、イノベーションに挑戦する精神と技術力を持つ創業意識の高い若手人材育成に取り組んでいます。

(*)会津藩校日新館は、幕末会津藩の最高学府で、教育の重要な役割を担っていました。

白虎隊士や新島八重の兄(山本覚馬)など、優秀な人物を多数輩出し、全国に数ある藩校の中でも屈指の教育機関であったといわれています。

国際IT日新館

～会津発グローバルITリーダー育成プログラム～

国際IT日新館は、海外からの留学生を、グローバルITリーダーとして育成する教育プログラムです。

日本語、英語、母国語の3か国語を操るIT人材を、日本企業、日系企業、地域のベンチャー企業と大学が連携しながら、「会津の教え」「企業の教え」を会得した人材教育に取り組んでいます。平成25年度は、中国、ベトナム、ドイツ、ロシア、チュニジア、スリランカ、エルサルバドル、セネガル、ラオス等の国々の合計28名の留学生がこのプログラムに参加し、10名の修了生が当初の目標に沿って、就職・進学をしています。



国際IT日新館は、平成23年9月に終了した経済産業省事業「アジア人財資金構想『国際IT日新館』」の自立化によるもので、平成23年10月に開始したプログラムです。

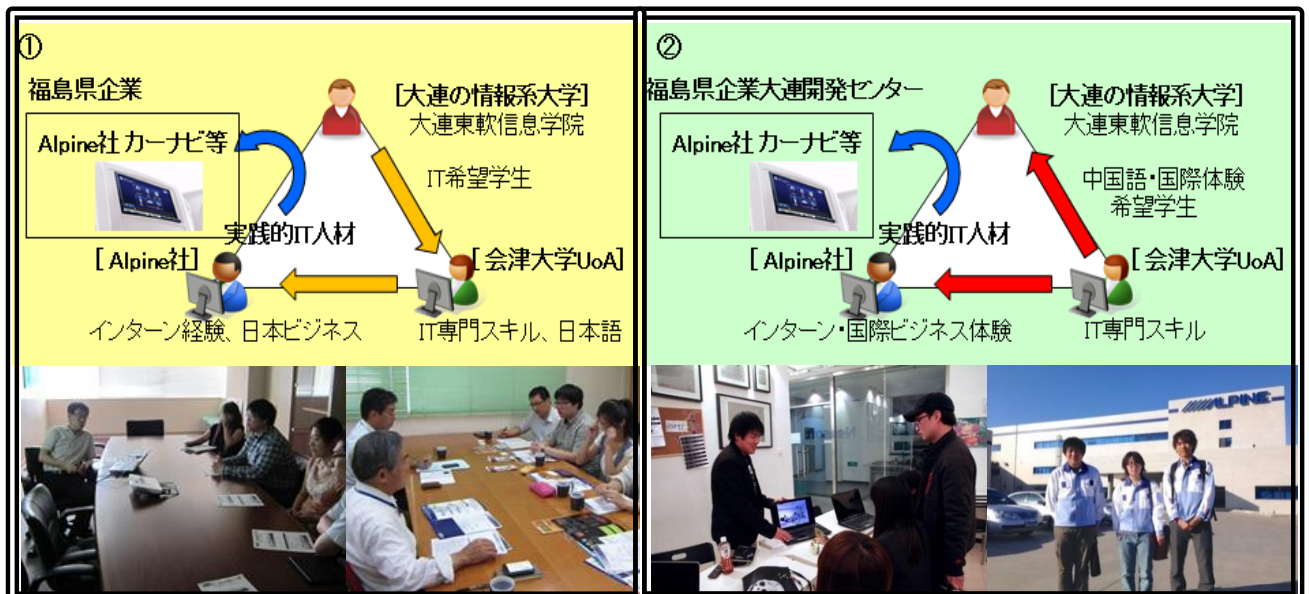
※ 大連・福島のプロ学協同IT人材育成モデル（DNAプロジェクト）

大連東軟情報学院(中国・大連)、アルパイン株式会社、公立大学法人会津大学の3者では「大連・福島のプロ学協同IT人材育成モデル」を実施しています。

※ (DNA Project : Dalian Neusoft Institute of Information + Alpine Electronics, Inc. + University of Aizu)

このプロジェクトは、下記2つのプログラムを実施しています。

- ① 大連東軟情報学院の学生が、会津大学でコンピュータ理工学の専門とビジネスに必要な日本語を学び、アルパインでのインターンシップを経験することにより、日本と中国の架け橋となるIT人材を育成する。
- ② 会津大学の日本人学生が、中国東軟情報学院での中国語講座・アルパイン中国大連開発センターでのインターンシップを体験することにより、国際性豊かな実践的IT人材を育成する。



理事と東軟情報学生の懇談

ベンチャー訪問

東軟情報学院

Alpine大連開発センターインターン

企業との協業による教育活動～2

会津IT日新館

～ベンチャー人材育成プログラム～

会津IT日新館は、大学が地域のベンチャー企業や自治体と連携し、地域や企業のニーズに対応したテーマを持つベンチャー体験工房群を構成し、挑戦する精神と技術力を持つ人材育成に取り組んでいます。

ベンチャー基本コース

ベンチャー基本コースは、より実践的なビジネス知識が習得できるように、「知識編」と「講義」で構成された授業です。

「知識編」では、ビジネスに関連した知識を系統的に学び、ベンチャー精神育成に必要な知識を習得することができます。「講義」では、各分野で活躍している多彩な外部講師によるタイムリーな話題に触れることができます。

毎年課題として「あいづ農商工観学フェア」のビジネスプランコンテストに応募し、数々の賞を受賞しています。



担当教員

産学イノベーションセンター 教授 石橋 史朗
・会津IT日新館(ベンチャー基本コース授業担当)

ベンチャー体験工房

ベンチャー体験工房は、より少人数で実践的な教育手法として注目されているPBL(プロジェクト形式の課題解決型学習)を取り入れた授業です。

大学や地域、企業の課題を見つけ、チームで一つの開発テーマに取り組み、実践します。

また、企業の技術者から直接指導を受け、ベンチャー創業活動や産業界での実務に近いソフトウェア開発などの疑似体験をすることにより、起業家精神の醸成を行っています。



担当教員

産学イノベーションセンター 准教授 王 軍波
・会津IT日新館(ベンチャー体験工房授業担当)

研究技術説明会

会津大学が有する研究成果や特許等について、企業関係者等を対象とした研究技術説明会を開催しています。説明会では、大学教員自らが実用化を想定した説明をすることで、企業ニーズとのマッチングを図っています。また、これらの説明会を通して、企業様の要望に応じた技術相談を行うことで、産学官連携を推進しています。

会津大学ニューテクノロジーセミナー

開催日：平成25年12月 5日(木)
会場：コラッセふくしま(福島市)

1 空中文字や複雑な動作のカメラ映像からの識別手法

会津大学 コンピュータ理工学部 情報システム学部門
特別栄誉教授 岡 隆一



空中に描かれた文字や複雑なジェスチャを動画から識別することは未だ困難である。本技術は、多様な遮蔽物がカメラの前にある場合、同時に識別すべき複数の動作がある場合、また、種々の変形や移動する他の物体がある場合でも良好に識別する。

2 統計的手法を用いて個人の筆跡を模擬した文字を生成する手法

会津大学 コンピュータ理工学部 情報システム学部門
上級准教授 慎 重弼



本発明は、サンプルとして人が書いた複数の文字からその特徴を統計的に抽出することにより、筆跡の個性を備えつつ、個々の文字を手で書く際の多様性まで加味した文字を、多数生成することが可能な文字生成プログラムを提供する。

3 カスタマイズ可能な大規模センサネットワーク

会津大学 コンピュータ理工学部 コンピュータ工学部門
教授 宮崎 敏明



利用者が与えたシナリオに従って、振舞いをカスタマイズすることが可能なセンサネットワーク構築技術。ならびに 利用者が知りたい情報を問いかける形で、所望のセンシングデータを能動的に取得できる技術。

4 睡眠時に計測した体温と心拍数による生理周期の自動推定

会津大学 コンピュータ理工学部 情報システム学部門
教授 陳 文西



睡眠中の体温データと心拍数データを自動的に計測し、適切な前処理で明らかな外れ値を除去した後、隠れマルコフモデルやコサイン法などを用い、生理周期における高温相と低温相を推定し、排卵期と月経期を特定する。

UBICでは、毎年大学の研究成果や技術をまとめたシーズ集を発行しています。是非ご活用ください。

※ シーズ集は、UBICホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ubic-u-aizu.jp/kenkyu/ichiran.html>

また、UBICでは企業様からの技術相談や産学連携のマッチング相談を随時受け付けています。会津大学の技術に興味を持たれた方は、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】 産学イノベーションセンター(UBIC)

HP : <http://www.ubic-u-aizu.jp>

☎ : 0242-37-2776(代表)

✉ : ubic-adm@ubic-u-aizu.jp



各種講習会

新たなビジネス展開と地域産業の振興を支援するために、ITに関する各種講習会を実施しています。また、施設を低料金で提供することにより、地域産業の支援を行っています。

IT講習会

UBICのシステムエンジニア(SE)が講師となり、少人数制の各種IT講習会を開催しています。

また、平成23年度～平成25年度までは会津SLF協議会との共催によるIT講習会を実施し、IT関連産業の即戦力となる人材育成に向けて取り組みました。

※会津SLF協議会について 福島県及び会津地域自治体の協力の下、会津大学・会津大学発ベンチャー及び福島県内のIT関連企業が相互に連携して即戦力となる人材を育成し、人的基盤の確立による地域IT企業の競争力強化を図り、成長産業である「IT関連産業」の基幹産業への転換と会津地域の経済・雇用の活性化を目的としています。

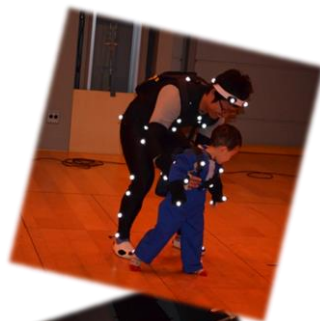


一日無料体験

『会津大学オープンキャンパス(春・秋の年2回)』に、UBICの運動解析室(モーション・キャプチャシステム)の無料体験を実施しています。



3Dシアターでは、200インチスクリーンを体感できます。



オープンキャンパスの様子。
家族連れなど沢山の利用者でにぎわいます。



運動解析室では、人や物の動きをコンピュータに取り込む技術を気軽に体験できます。

共同研究等の制度

共同研究等の制度をご利用の際には、コンピュータサイエンスを専門とする教員(約110名)の中から、研究テーマに最適な教員を選定します。どうぞお気軽にご相談ください。

■共同研究

共同研究とは、企業等の外部機関の研究者・技術者と本学の教員とが共通のテーマについて研究を行う制度です。目的やご希望に応じて、以下の3つの形態から選択することができます。

- ① 研究に要する経費を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ② 共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ③ 研究に要する経費と共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究

■受託研究

受託研究とは、企業等からの受託を受けて本学の教員が研究を行う制度です。これに要する経費は、委託者が負担することになります。

■奨学寄附金

奨学寄附金とは、教育及び学術研究の奨励に使用されることを目的に、企業等から寄附金を受け入れる制度です。

共同研究等の開始までのフロー

共同研究等の
希望について
UBICに相談



制度及び教員の紹介

打合せ

教員と研究内容について打合せ

UBICと契約内容について打合せ

研究テーマ、期間、金額
などを決定

申込書の提出

契約締結

費用の納付

研究スタート



研究開発室

UBICでは、会津大学の技術を活用し、ITに関する研究開発を支援する施設として、企業等の皆様に「UBIC研究開発室」を提供しています。

■研究開発室の使用対象者

- (1) 会津大学の教員と共同でコンピュータソフトウェア又はハードウェアに関する研究開発を行う福島県内外の企業、各種団体、又は個人。（※毎年度更新、最長3年以内で利用可能）
- (2) 会津大学の教員又は学生が起業した法人（設立後5年以内の法人に限る）、又は起業しようとする個人。（※毎年度更新、最長5年以内で利用可能）

■研究開発室の概要

研究開発室1	研究開発室2	研究開発室3	研究開発室4
約24㎡	約24㎡	約24㎡	約24㎡



- (1) 部屋数：4室
- (2) 面積：24㎡（1室）
- (3) 使用料：432,000円（1室1年）
- (4) 研究開発室内では、机、椅子、電気、水道、ネットワークが使用可能です。
- (5) コンピュータおよび周辺機器、電話等の必要な機器については、使用者側で準備していただきます。

■使用者決定の流れ

- (1) 公募開始 ※研究開発室の空き状況等により、公募の時期や内容が異なります。
※公募の際には、UBICホームページ等でお知らせします。



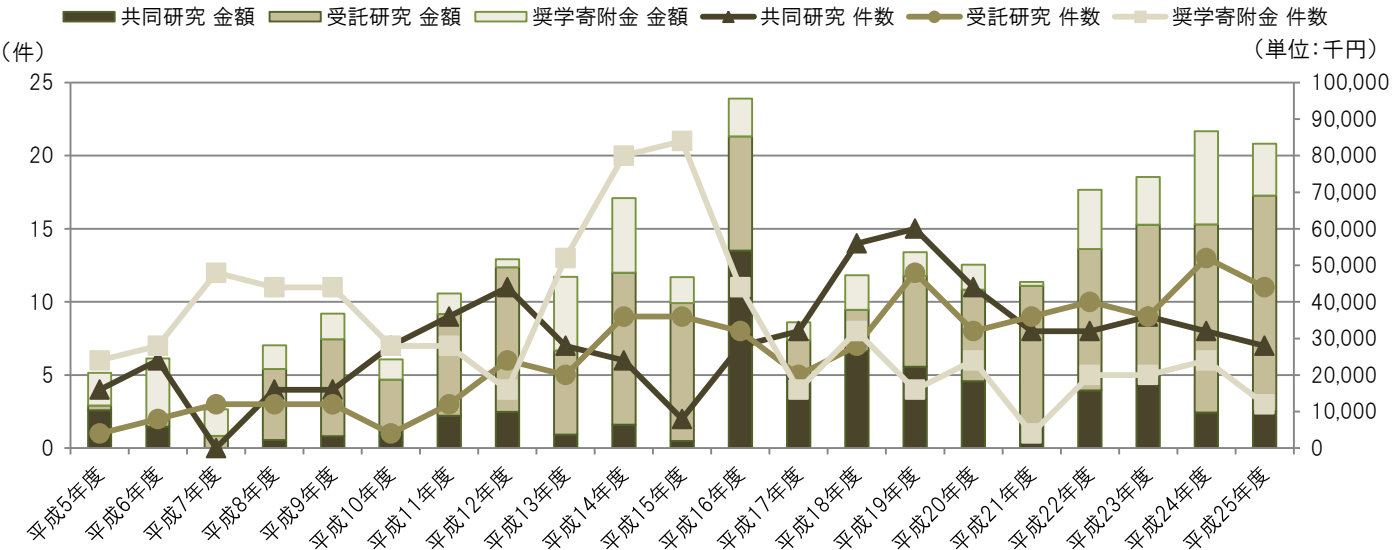
- (2) 使用者の選定

※『会津大学産学イノベーションセンター研究開発室使用者選定基準』に基づき選考します。



- (3) 使用者決定の通知、入居手続きの開始等

共同研究等



特許

出願番号	発明の名称	登録番号
1 特願2003-279445	ネットワークを介したホスト間の通信方法 (※株式会社ニセンエックスとの共同出願)	特許第3905067号
2 特願2003-432771	立体形状物の生成方法	特許第4675042号
3 特願2004-067762	生体情報処理システム	特許第4633373号
4 特願2004-067782	生体センサ装置	特許第4633374号
5 特願2004-255617	身体状態監視装置	特許第4592360号
6 特願2004-302035	心電図測定装置及び心電図測定システム	特許第4705358号
7 特願2005-056804	編集支援プログラムおよびプログラム編集の支援方法	特許第5164032号
8 特願2005-094651	瞬時装着型電極装置	特許第4671406号
9 特願2005-204020	自動支援システムおよび自動支援方法	特許第4832016号
10 特願2005-291717	呼吸心拍監視装置	特許第4863047号
11 特願2006-005599	対象物のタグ情報と位置情報とを特定するための無線ICタグ用タグ情報読み書きシステム	特許第5048247号
12 特願2006-034343	多変数決定木構築システム、多変数決定木構築方法および多変数決定木を構築するためのプログラム	特許第4997524号
13 特願2006-034344	多変数テスト関数生成装置、多変数テスト関数生成システム、多変数テスト関数生成方法および多変数テスト関数を生成するためのプログラム	特許第4997525号
14 特願2006-075524	音像定位装置及び音像定位方法	特許第4689506号
15 特願2006-075525	音像定位装置及び音像定位方法	特許第4949706号
16 特願2006-337242	利用人数算出システム、利用人数算出方法および利用人数算出用プログラム	特許第4936523号
17 特願2007-114211	月経周期推定装置および月経周期推定方法	特許第5099751号
18 特願2008-075279	ワンタイムパスワード認証システム、ワンタイムパスワード認証方法、ワンタイムパスワード生成プログラム、ワンタイムパスワード認証プログラムおよびワンタイムパスワード生成装置	特許第5164204号
19 特願2008-230593	センサ装置、センシング情報収集システム、センシング機能代替方法およびセンシング機能代替プログラム	特許第5099777号
20 特願2009-005682	画像パターンマッチング装置、画像パターンマッチング方法および画像パターンマッチング用プログラム	特許第5247481号
21 特願2009-094620	アレイプロセッサ	(審査請求済み)
22 特願2009-144420	認証カード、カード認証端末、カード認証サーバおよびカード認証システム	特許第5301365号
23 特願2009-297581	立体音響生成システム、その制御方法及び制御プログラム	特許第5472613号
24 特願2010-103209	カンチレバーアレイを有する共振センサ装置	特許第5462698号
25 特願2010-170828	複素型直交変調器、複素型直交復調器及びこれらに用いる直交ミキサ	(審査請求済み)
26 特願2010-232991	悪性ウェブコードの判別システム、悪性ウェブコード判別方法および悪性ウェブコード判別用プログラム	(審査請求済み)
27 特願2010-262195	ジェスチャ認識装置及びジェスチャ認識方法	(審査請求済み)
28 特願2011-018668	ストローク生成装置、ストローク生成方法、ストローク生成プログラム、文字生成装置、文字生成方法および文字生成プログラム	(審査請求済み)
29 特願2011-024333	画像生成装置および画像生成プログラム	(審査請求済み)
30 特願2011-093262	ホルダ認証システム、ホルダ認証端末、基底画像生成装置およびホルダであることの認証に利用される記録媒体	
31 特願2011-239897	体内臓器の動画画像生成装置および体内臓器の動画画像生成方法 (※財団法人竹田総合病院との共同出願)	
32 特願2012-163332	動画像処理装置および動画像処理プログラム	
33 特願2012-204403	センサネットワークシステム及びセンサネットワークシステムにおけるデータ取得方法	(未公開特許)
34 特願2012-227771	秘密情報隠蔽装置、秘密情報復元装置、秘密情報隠蔽プログラムおよび秘密情報復元プログラム	(未公開特許)
35 特願2013-024166	類似系列区間検出装置および類似系列区間検出プログラム	(未公開特許)
36 特願2013-188978	水田除草ロボット (※玉川エンジニアリング株式会社との共同出願)	(未公開特許)
37 特願2013-262523	誤り耐性ルータ、これを使用するIC、及び誤り耐性ルータの制御方法	(未公開特許)

UBIC 利用案内

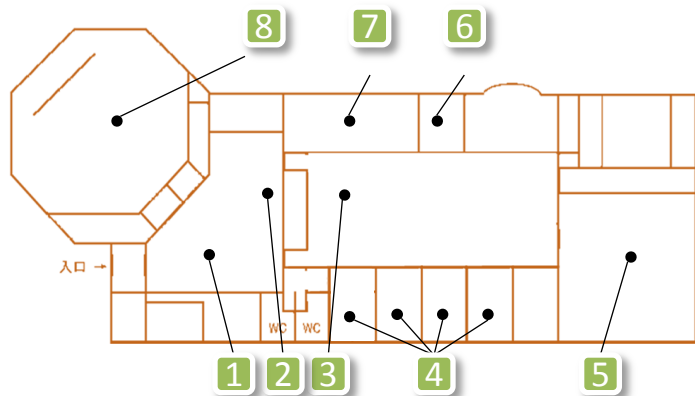
- 開館時間 午前8時30分～午後5時
- 休館日 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始
- 申込方法 事前申込制

※使用する施設・システムの空き状況については、電話、Eメール等によりお問い合わせください。

※申請書はUBICホームページからダウンロードできます。

※使用単位中「1回」とあるのは、次に掲げる時間です。

①8:30～12:30 ②13:00～17:00



無料施設

1 エントランスホール



2 体験コーナー



インターネットが利用できるパソコンを4台設置しています。

3 オープンスペース



会議用の机、椅子、プロジェクタを設置しています。無料で開放していますので、ミーティング等でお気軽にご利用いただけます。

▲(エントランスホール) 技術相談や共同研究の打合せ、あるいは情報交換や休憩等にご利用いただけます。ビジネス書を中心とした約300冊の蔵書を自由に閲覧することのできるスペース(会津IT日新館ライブラリー)があります。

有料施設

研究開発室

使用料 432,000円/1室1年

4

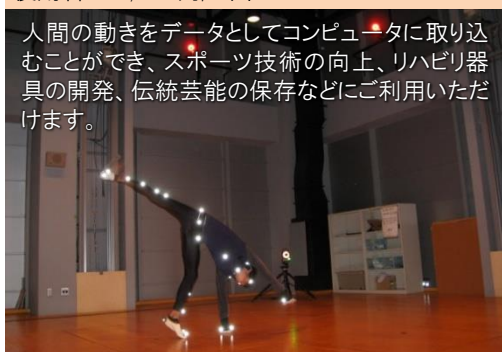


▲産学連携の拠点として、研究開発室を4室用意しています。ITに関する研究開発を行うことができます。(※詳細は12ページをご覧ください。)

運動解析ルーム

使用料 16,200円/1回

5



人間の動きをデータとしてコンピュータに取り込むことができ、スポーツ技術の向上、リハビリ器具の開発、伝統芸能の保存などにご利用いただけます。

CG制作ルーム

使用料 280円/1システム1時間

6



3DCG制作、2DCG制作、アニメーション制作、モーションキャプチャデータの3DCG化が可能です。

セミナールーム

使用料 21,600円/1回

7



20台のパソコンと50インチディスプレイ3台により、インターネット・プログラミング・イントラネット・MS Office等の各種講習会にご利用いただけます。また、UBIC主催の講習会も開催しています。

3Dシアター

使用料 21,600円/1回 (50人程度入場可能)

8



高輝度高精細液晶プロジェクタ、200インチスクリーンを使ったセミナーの開催、その他プレゼンテーションの場としてご利用いただけます。

UBICインフォメーション

◆ 産学イノベーションセンター講習会

UBICでは、産業の振興、学術文化の向上など、会津大学がめざす地域活性化を目的としたIT人材育成の一環として、JAVAプログラミング講習会等の講習会を開催しています。
(※平成26年度開催分は、決まり次第、HP等で随時お知らせします。)

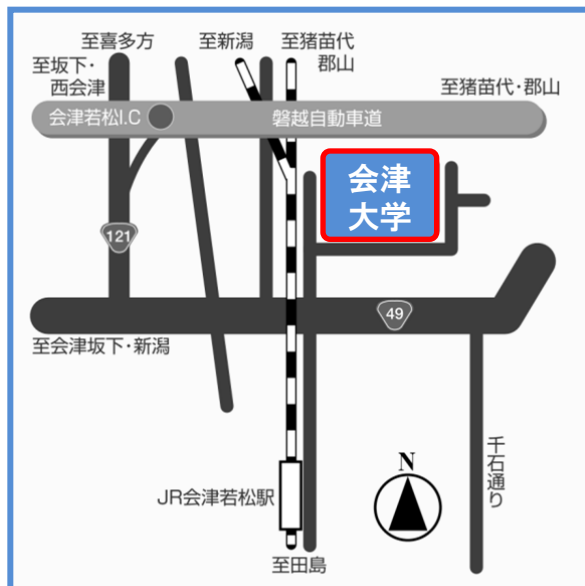
◆ メーリングリストの登録

UBIC各種講習会への参加・応募を希望される方は、住所・氏名・電話番号・e-mailアドレスを明記のうえ、FAX、e-mail等でご連絡ください。メーリングリストに登録のうえ、詳細情報が決まり次第ご案内いたします。
なお、メーリングリストへはUBICホームページからも登録できます。

◆ 会津大学シーズ集

UBICでは、本学と産業界等との連携をより一層推進していくため、本学研究者の研究内容を広く一般に紹介するシーズ集を作成しています。UBICホームページへアクセスしてご覧下さい。

◆ アクセス



<キャンパスマップ>



会津大学産学イノベーションセンター(UBIC)

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電話：0242-37-2776

FAX：0242-37-2778

Eメール：ubic-adm@ubic-u-aizu.jp

ホームページ：http://www.ubic-u-aizu.jp/